「医師確保対策事業」について

1 地域医療拡充支援事業(地域医療拡充支援事業補助金)

救急医療をはじめ、徳島県南部圏域の地域医療の担い手の確保および人材育成を目的として、令和2年度に阿南医療センター内に設置された「阿南地域医療教育センター」を拠点として実施する徳島大学の寄付講座「実践地域診療・医科学分野」に係る経費の一部を1市4町で負担し、阿南医療センター(JA厚生連)に交付し、将来的には、定住自立圏内の公立病院等に医師の派遣ができるシステムの確立を目指す。

【補助金】

対象経費が年額1億円以内の場合:対象経費の3/5に相当する額以内 対象経費が年額1億円を超える場合:対象経費の2/5に相当する額に2,000万を加えた 額以内とし、年額7500万円を上限

【負担割合】

4 町負担割合:補助金額×4 町の患者数割合×1/2 を均等割 40%、患者数割 60%で按分 市負担金:補助金額-4 町の負担金

(1) 令和2年度から令和5年度の実績

①阿南医療センターでの救急で受け入れた件数(人数)

	阿南市	那賀町	美波町	牟岐町	海陽町
令和2年度	4,459	357	194	32	79
令和3年度	5,009	425	211	32	92
令和4年度	5,667	418	216	39	97
令和5年度	5,397	440	221	39	104

※救急=救急搬送患者+時間外患者

②阿南医療センターで受診した人数

	阿南市	那賀町	美波町	牟岐町	海陽町
令和2年度	65,669	4,151	4,070	946	1,717
令和3年度	68,256	4,439	4,052	986	1,863
令和4年度	68,653	4,252	3,962	946	1,804
令和5年度	67,983	4,070	3,798	910	1,833

③阿南医療センターで入院した人数

	阿南市	那賀町	美波町	牟岐町	海陽町
令和2年度	5965	559	390	121	229
令和3年度	5809	592	402	151	220
令和4年度	5411	541	379	148	244
令和5年度	5330	557	360	136	249

④阿南医療センターの緩和ケア病棟に入院した患者数

	阿南市	那賀町	美波町	牟岐町	海陽町
令和5年度	45	7	1	1	0

※令和5年度は、令和5年11月から令和6年3月の5か月分のみ (緩和ケア病棟は、令和2年9月から令和5年10月までコロナ病棟としていたため)

⑤阿南医療センターの常勤換算値での医師数

	常勤	非常勤	計
開院時(令和元年5月)	34.00	10.10	44.10
令和5年4月	35.00	15.44	50.44

⑥阿南地域医療教育センターの教授等医師数

	医師数
令和2年度	7
令和3年度	9
令和4年度	9
令和5年度	9

⑦阿南医療センターから各町立病院等へ派遣された医師数及び回数

	那賀	[町	美波町		牟岐町		海陽町	
	派遣医師 実人数	回数	派遣医師 実人数	回数	派遣医師 実人数	回数	派遣医師 実人数	回数
令和2年度	0	_	4	5月~6月:週3回 7月以降:週4回	1	週1回	0	_
令和3年度	0	_	2	週4回	1	週1回	0	_
令和4年度	0	_	2	週4回	1	月2回	0	_
令和5年度	0	_	2	4月~10月:週4回 11月以降:週3回	1	月2回	1	8月~10月:週1回
派遣に至った経緯	要望なし		美波病院院長から前院長に派遣を要望し、内科医を派遣					要望あり。内科医 休になるまでの短

⑧令和5年度4町での住民公開講座の内容及び参加人数

	那賀町	美波町	牟岐町	海陽町
開催日		1/21 (日)	10/29 (日)	9/3 (日)
内容		腹腔鏡手術 今から防げる肝臓がん 高齢者脊椎疾患に対する手術 認知症の津波にのみ込まれな いために	しなやかな血管について しなやかな体作りのための 運動療法	加齢と眼 変形性膝関節症と人工膝関節 全置換術 前立腺癌の疫学と検査 高齢者脊椎疾患に対する手術
参加人数		40人	70人	145人

※令和2年から令和4年度の実績なし。阿南医療センターから海部郡へ声をかけ開催。

(2) 効果

病院間の連携強化が図られ、救急医療の体制が整うとともに、教育や研究活動を通して、高度な医療の提供につながる等、県南の医療が充実し、地域住民の方々が安心して信頼できる医療を受けることができるようになった。

(3) 令和6年度計画

体制:特任教授5名、特任准教授2名、特任助教1名、技術補佐員2名の計10名

内容:阿南医療センターでの外来診療や病棟診療などの包括的な診療支援業務

徳島大学の臨床実習医学生・研修医及び専攻医に対する指導

補助対象経費:1億4,580万円(見込) 補助額:上限額の7,500万円(見込)

(4) 今後の課題

(事業継続の確保)

阿南医療センターが1市4町県南の医療の核として、県南の医療の需要にしっかりと応えられ、安心して医療を受けられる体制を維持すること、地域医療を担う医師の確保を図る上で、今後も「地域医療拡充支援事業」を継続する必要性が高いと考えられる。

- 1, 徳島大学の寄付講座の設置期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間で終了。
- 2,阿南医療センターは、定住自立圏内の公立病院等にはない「緩和ケア内科」「リウマチ科」 等の診療科があり、また「産科」「小児科」も阿南医療センターと県立海部病院にしかない。
- 3, 令和4年度の阿南医療センターの年代別医師数では60代が一番多いことから、今後、夜間の救急医療の受入体制の確保等に支障が生じる可能性がある。

(派遣システム構築の検討)

「地域医療拡充支援事業」を継続する上で、定住自立圏内の公立病院等に医師の派遣ができるシステムの構築が必要であると考えられる。

(インセンティブ付与の検討)

地域に残ってもらうため、各町立病院等で勤務すれば追加手当を支払う等のインセンティブ付与についても検討が必要と考えられる。

2 産科医師確保対策事業(産科医分娩手当補助金)

阿南医療センターにおける産科医師の確保を目的として、派遣産科医(徳島大学病院)の分娩 手当の一部(補助基準額の3分の1)を1市2町(那賀町・美波町)で負担し、阿南医療センター(JA厚生連)に交付することで、圏域の産科機能の充実を図る。

【補助金】

上限:年間80件を上限(26万4千円を上限)

対象経費が分娩1件当たりの圏域負担額:

分娩手当(25,000円)の内、補助基準額(10,000円)を圏域(3分の1)で負担 10,000円×1/3 $\stackrel{.}{=}$ 3,300円

【負担割合】

阿南市 8 / 1 0、那賀町 1 / 1 0、美波町 1 / 1 0

- (1) 令和2年度から令和5年度の実績
 - ①各自治体別出生数及び阿南医療センターで出産した人数

	阿厚	有市	那貧	夏町	美洲	支町	牟	支町	海陽	易町
	出生数	出産数	出生数	出産数	出生数	出産数	出生数	出産数	出生数	出産数
令和2年度	396	185	23	10	31	22	10	7	25	17
令和3年度	395	212	26	11	25	10	10	7	35	25
令和4年度	362	185	16	7	23	13	6	4	27	19
令和5年度	369	198	8	3	20	8	12	8	22	15

②阿南医療センターで時間外(当直)で出産した人数

	計
令和2年度	34
令和3年度	31
令和4年度	25
令和5年度	26

(2) 効果

定住自立圏内の公立病院等では、阿南医療センターと県立海部病院にしかない中、車で遠く ても1時間半の距離で、また、産婦人科と小児科の診療科があるため、阿南医療センターで安 心して出産が出来るようになった。

(3) 令和6年度産科医師確保対策の計画 年間分娩400人のうち80件該当 26万4千円(見込)

(4) 今後の課題

(各市町村の負担の在り方の検討)

第2次南阿波定住自立圏共生ビジョンの終了年度(令和8年度)後、継続する上では、令和9年度から、定住自立圏内市町村間における負担の在り方について、検討する必要があると考えられる。

- 1,阿南・那賀・美波阿波定住自立圏共生ビジョンが策定された平成24年度から産科医分娩 手当の補助開始し、翌25年度からは当市だけではなく、2町(那賀町・美波町)にも負担 してもらっている。
- 2,産婦人科は、定住自立圏内の公立病院等では、阿南医療センターと県立海部病院にしかない。また、牟岐町や海陽町の方の出産も出生数の半分以上が阿南医療センターで出産している。(那賀町や美波町同様の状況)

3 医師事務負担軽減支援事業 (医師事務作業補助支援費補助金)

医師不足である産婦人科及び小児科医師の事務負担を軽減し、診療の効率化、医師の処遇改善を行い救急医療の維持を目指すことを目的とし、平成24年度から市単独で阿南医療センター(JA厚生連)に交付。

【補助金】

補助事業に係る経費の4分の1の範囲内で市長が定める額

(1) 令和2年度から令和5年度の実績

①事務補助員の派遣数

	事務補助員
令和2年度	7
令和3年度	4
令和4年度	4
令和5年度	5

②阿南医療センターの常勤換算値での産婦人科医及び小児科医の医師数

	産婦人科医	小児科医
令和2年4月	4.10	3.02
令和3年4月	4.10	3.02
令和4年4月	4.06	3.02
令和5年4月	5.05	3.02

(2) 効果

産婦人科医が常勤換算値で約1名増加となる等、医師の処遇改善が図られるとともに、産婦人科及び小児科医師の診療の効率化を図ることが出来た。

(3) 令和6年度医師事務負担軽減支援事業の計画

補助対象経費:事務作業補助者4名、1620万7千円(見込)

補助額: 3 2 5 万円 (見込) (16,207,000×1/4=4,051,750)

(4) 今後の課題

(各市町村の負担の在り方の検討)

第2次南阿波定住自立圏共生ビジョンの終了年度(令和8年度)後、継続する上では、令和9年度から、定住自立圏内市町村間における負担の在り方について、検討する必要があると考えられる。

- 1,産婦人科と小児科は、定住自立圏内の公立病院等では、阿南医療センターと県立海部病 院にしかない。
- 2, 常勤換算値での産婦人科医は令和2年度4月と比較すると増えているが、小児科医は増 えていない現状がある。

令和 5 年度 地域医療拡充支援事業補助金 (阿南地域医療教育センター) 4 町 負 担

令和5年度事業費予定額 1億6,300万円(補助対象経費)

阿南市補助金額(阿南市要綱による算定式)=補助対象経費×2/5+2,000万円

1億6, 300万円×2/5+2, 000万円 = 8, 520万円 (要綱による算定額)

→ 補助金額 = 7, 500万円(要綱による上限額)

4 町負担額 = 補助金額×1市4町における4町の患者数割合(%:表2参照)×1/2

7, 500万円×14.4%×1/2 = <u>540万円(全体の7.2%)</u>

【表1】4町負担額(町別)

5 4 0 万円 (端数処理) → **5 3 9. 9 万円**

均等割 40% 患者数割 60%

	均等割	患者数割(外来+入院)		計	負担額(千円未満切捨)
	(円)	額(円)	割合 (%)	(円)	(円)
那賀町	540,000	1,283,040	39.6	1,823,040	1,823,000
美波町	540,000	1,134,000	35.0	1,674,000	1,674,000
牟岐町	540,000	281,880	8.7	821,880	821,000
海陽町	540,000	541,080	16.7	1,081,080	1,081,000
小計	2,160,000	3,240,000	100.0	5,400,000	5,399,000
阿南市				69,600,000	69,601,000
合 計				75,000,000	75,000,000

【表2】阿南医療センター患者数(令和3年10月~令和4年9月) 〔1市4町のみ〕

	外来(人)	コ 70中 (↓)	= ⊥	割合 (0/)	4 町のみ	
	プト木 (八)	入院(人)	計(人)	割合(%)	計 (人)	割合 (%)
那賀町	4,382	565	4,947	5.7	4,947	39.6
美波町	3,981	396	4,377	5.0	4,377	35.0
牟岐町	935	152	1,087	1.3	1,087	8.7
海陽町	1,835	251	2,086	2.4	2,086	16.7
小計	11,133	1,364	12,497	14.4	12,497	100.0
阿南市	68,662	5,641	74,303	85.6		
合 計	79,795	7,005	86,800	100.0		

令和6年度の教員別業務内容(予定)

特任教授

① 糖尿病・内分泌代謝内科学:週5日

外来診療、美波病院業務(阿南医療センター医師への診療支援依頼業務対応として)、体 組成診断検査担当、甲状腺エコー検査担当、内科ミーティング実施し、若手医師指導、院 内抄読会の実施、徳島大学医学生地域医療実習受入、臨床研究実施(阿南医療センター若 手内科常勤医医師 5 名含め、阿南医療センター実施の英語論文 6 編発行)、伊島診療(年間3日)、糖尿病ケアチーム運営委員会活動(糖尿病センター長)、糖尿病患者会(ひまわり会)顧問および患者会イベント実施

② 循環器・不整脈学:週1日+循環器手術日

週1回外来診療(不整脈を中心とした循環器全般)、循環器検査(経食道心エコーなどの 特殊検査を含む)、循環器手術(外来診療とは別日にて月に1~2回施行、診療報酬点数が 高い経皮的カテーテル心筋焼灼術、ペースメーカー移植術など)、若手医師指導(高度医 療の技術指導など)、研究(成果として国際学会発表など)等

③ 血液内科学:週2日

外来診療(外来化学療法含む)、病棟回診(血液疾患患者)、美波病院業務(阿南医療センター医師への診療支援依頼業務対応として)、内科ミーティング実施し、若手医師指導(臨床、研究)

④ 消化器外科学:週1日

消化器外科手術、若手医師指導、研究等、日本内視鏡外科学会技術認定医(阿南医療センターには有資格者なし)として、主に腹腔鏡手術の指導。腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術、腹腔鏡下超低位前方切除などの高難度の鏡視下手術のみならず、開腹肝切除等などの開腹手術の指導実施。

⑤ 放射線医学:週1日

画像診断のコンサルティング、撮影条件の指示、研究等

特任准教授

① 糖尿病·内分泌代謝内科学:週4日

外来診療、腎センター糖尿病患者往診、病棟糖尿病患者診察、内科ミーティング実施し、 若手医師指導、徳島大学医学科実習生指導、薬学実習生指導、糖尿病ケアチーム運営委員 会活動、糖尿病治療に関する研究活動

② 消化器内科学:週1日

外来診療:肝疾患および消化器疾患を対象とした外来診療を実施(肝障害患者の紹介診療、B・C型肝炎への抗ウイルス治療、肝癌外来化学療法を実施。高度治療が必要な場合は徳島大学消化器内科に紹介し、病状が安定後は阿南医療センターで継続診療)、院内肝炎チーム会運営:肝炎医療コーディネーターを取得した多職種(看護師、薬剤師、臨床検査技師、医療クラーク、事務員、ソーシャルワーカー、栄養士)と連携して、肝疾患の啓発啓蒙や肝炎患者の拾い上げを実施。今年度、院内の電子カルテを利用した、術前肝炎検査でのウイルス陽性者への受診勧奨システムを新規構築した。本活動は、厚生労働行政推進調査事業費補助金(肝炎等克服政策研究事業)「多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究」内での研究テーマとして進行中。研究:①マウスモデルを用いた健康食品による脂肪肝の発症予防および抗老化作用のメカニズム(英語論文1編発表)、②in vitroでの大規模スクリーニングシステムを用いた、肝細胞癌における抗がん剤の新規耐性因子の同定が進行中。

特任助教

① 胸部内分泌腫瘍外科学:週1.5日及び月2回当直業務

外来診療:阿南医療センター近隣の医療機関や検診、院内で指摘された甲状腺腫瘍や良性疾患の紹介患者に対し、適宜針細胞診を実施。手術加療が必要な患者は徳島大学病院へ紹介し、徳島大学のスタッフと共に甲状腺手術を実施。手術後は阿南医療センター外来でフォローアップ。外科手術:当院外科手術の助手(主にスコピスト、視野展開)や外科手術の支援及び気胸手術等の呼吸器外科領域の手術及び指導、月2回の当直業務(産婦人科医と協力し、当直中に発生した帝王切開の助手としても対応している)、研究:ロボットを用いた低侵襲手術に関する研究研鑽を実施。

技術補佐員

① ② 週5日

人件費及び研究予算管理及び支出業務、基礎及び臨床研究の補助及びデータ管理、講座内 連絡業務等

阿南地域医療教育センター設置以降における各取組事業別補助金

1 各取組事業別補助金総額

	R2	R3	R4	R5
地域医療拡充支援事業補助金	68,000,000	75,000,000	75,000,000	75,000,000
医師事務作業補助支援費補助金	6,500,000	6,500,000	3,250,000	3,250,000
産科医分娩手当補助金	112,000	102,000	82,000	85,000
計	74,612,000	81,602,000	78,332,000	78,335,000

2 自治体別地域医療拡充支援事業負担金

	R2	R3	R4	R5
阿南市	68,000,000	69,676,000	69,491,000	69,601,000
那賀町		1,778,000	1,827,000	1,823,000
美波町		1,705,000	1,744,000	1,674,000
牟岐町		823,000	845,000	821,000
海陽町		1,018,000	1,093,000	1,081,000
計	68,000,000	75,000,000	75,000,000	75,000,000

3 医師事務作業補助支援費補助金

	R2	R3	R4	R5
阿南市	6,500,000	6,500,000	3,250,000	3,250,000

4 自治体別産科医分娩手当負担金

	R2	R3	R4	R5
阿南市	89,600	81,600	65,600	68,000
那賀町	11,200	10,200	8,200	8,500
美波町	11,200	10,200	8,200	8,500
計	112,000	102,000	82,000	85,000